

## 甲斐源氏の一族

## 岩崎氏の里をめぐる



ワイン産業の発祥地・下岩崎に建つ正宗寺は、甲斐源氏の一族岩崎氏の菩提寺であったという



一宮町との境に建つ「葡萄の里祝村」の碑は大正15年の建立



土屋龍憲が建設したセラ

フットパスの散策を通じて、地域の内外の皆さんに勝沼の自然や歴史文化、風土を楽しんでいただこうと「勝沼フットパスの会」では、今年もウェルカムツアーを開きます。今回のコースはワイン産業の発祥地であり、甲斐源氏の一族・岩崎氏のふるさとでもある下岩崎をめぐる。晩秋の一日、ぜひご参加ください。

日時 2014年11月24日(月・振替休日) 午前9時～9時30分受付

スタート 午前9時30分

ゴール 午後12時ころ ※昼食後解散

集合場所 シャトレゼ勝沼ワイナリー前(日川ぶどう橋北側)

甲州市勝沼町勝沼3019番地

※駐車場あり。JR勝沼ぶどう郷駅から送迎あり。

募集人数 80人(先着順)

参加費 1人1,000円(昼食、保険、資料代。小学生以下無料)

参加申込み 裏面の申込書、または電話で11月21日(金)までに下記まで申し込んでください。ファックス、「勝沼フットパス」のホームページからも申し込みができます。

■実施事務局 TEL0553-39-8915(FAX兼) まち案内&カフェ「つぐら舎」内。午前10時～午後5時 ※火曜日休み ■ある〜くこうしゅう推進協議会(甲州市観光交流課内) TEL0553-32-2111(代) FAX0553-32-5174

### 主な行程：約3km 所要時間：約2時間30分

スタート：ぶどう橋～正宗寺～鎌倉街道～大泉葡萄酒前～蓮華寺～徳本顕彰碑～葡萄の里の碑～勝沼醸造前～鉢塚古墳前～新道～龍憲セラ～日本初のワイン醸造会社跡～ゴール：川口園(ほうとう、ワインサービス等)

### ワインだけではない 下岩崎の歴史

#### ■勝頼公落去の道

正宗寺や宮光園の前を通り上岩崎へ通じる旧道は、鎌倉街道であったという。天正10年(1582)勝頼公主従が落ち延びていくとき通った道だといわれ、立ち寄った正宗寺は、追手の織田軍に焼き払われたと伝えられる。

#### ■岩崎氏初期の館跡か

蓮華寺が建つ一帯は、中世に甲斐源氏の一族、岩崎氏の初期の館があったという。その後、南東の離れた場所に移ったが、鎌倉街道や菩提寺の正宗寺にも近く、周辺には掘割や土塁の痕跡が見られることから、頷ける話である。